

倉敷市五福地区 地区防災計画

～五福学区で誰ひとり取り残されない防災に～



令和5年3月作成

五福学区防災協議会

目 次

| | | |
|-----|---------------------------|--------|
| 1 | はじめに..... | - 1 - |
| 2 | 計画対象地区および活動の進め方 | - 2 - |
| 2-1 | 五福地区の特性 | - 2 - |
| 2-2 | 五福地区の予想される災害 | - 3 - |
| 2-3 | 活動の進め方 | - 5 - |
| 2-4 | 活動組織 | - 6 - |
| 2-5 | 活動方針 | - 6 - |
| 3 | 活動内容..... | - 7 - |
| 3-1 | 防災まち歩き・防災マップの作成 | - 7 - |
| 3-2 | 防災組織づくりと安否確認伝達訓練の実施 | - 12 - |
| 3-3 | 地区タイムライン | - 14 - |
| 4 | 活動の成果と今後の取り組み | - 16 - |
| 4-1 | 活動の成果 | - 16 - |
| 4-2 | 今後の取り組み | - 16 - |

1 はじめに

平成30年7月豪雨災害での被災者の支援をきっかけに五福地区の防災意識も芽生え、令和3年10月には市立第五福田小学校において、五福地区主動による避難訓練を実施しました。さらに今後、台風による高潮および洪水による浸水害、南海トラフ巨大地震の発生が想定されるなか、地域の特性に応じた防災への取り組みが非常に重要であると防災活動を進めていたところ、令和4年度岡山県地区防災計画等作成モデル事業に採択され、地区防災計画づくりを開始しました。

平成30年7月豪雨災害

倉敷市で大きな被害。特に真備町では洪水浸水想定区域と実際の浸水範囲がほぼ一致していたにもかかわらず、51名が死亡。死者の約8割が65歳以上。

- ・市立第五福田小学校が指定避難所
 - ・五福地区として被災者を支援
- ⇒防災意識の芽生え

令和3年10月
市立第五福田小学校で、**避難訓練実施**（地区社協、小・中学校、企業および行政が連携して実施）

台風による高潮や水害
南海トラフ地震

防災への取り組み
が非常に重要。
何とかしなければ

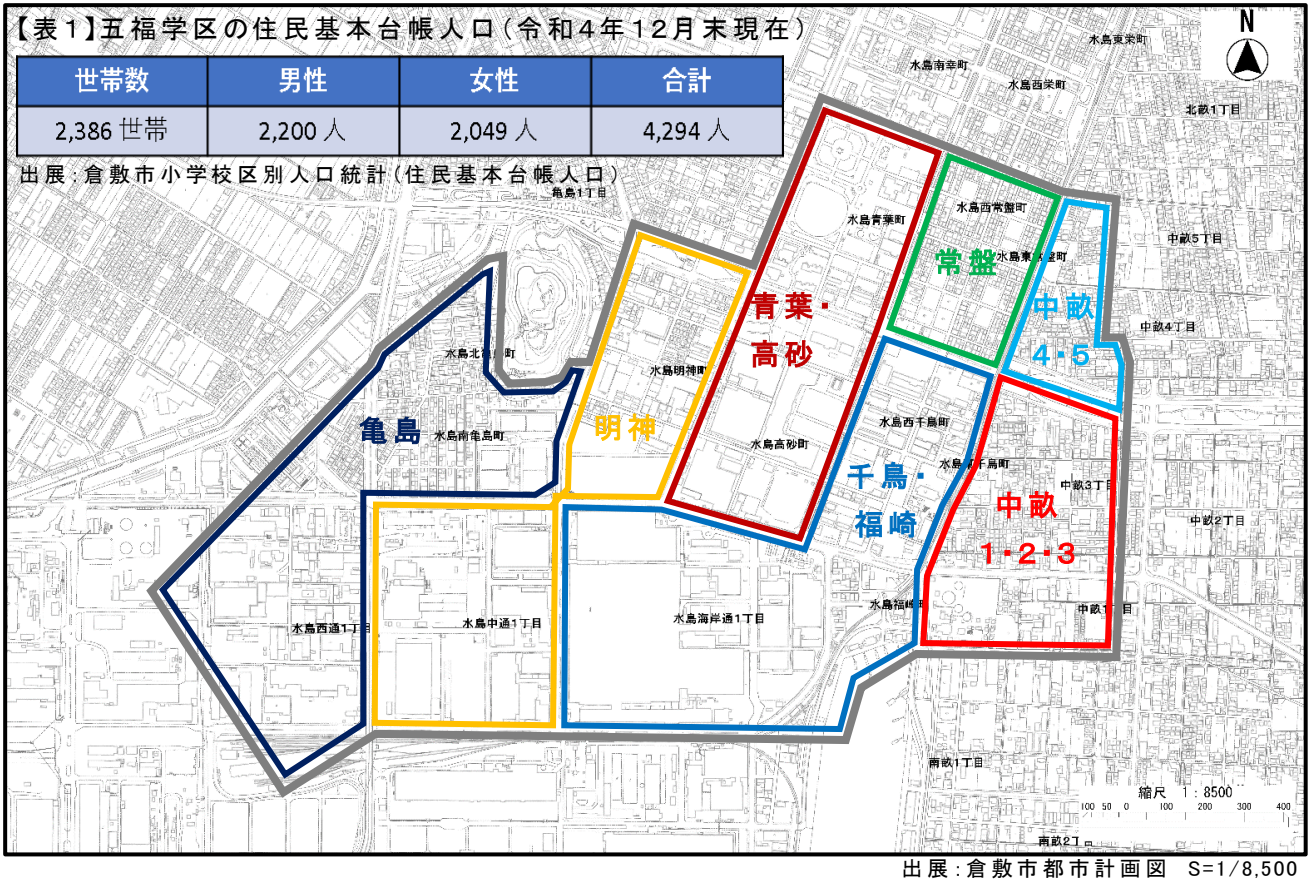
五福地区 地区防災計画づくり

今回、**令和4年度県モデル事業**として、県および市等により支援をいただくことになった。

2 計画対象地区および活動の進め方

- ・ 計画対象地区：市立第五福田小学校区（五福地区）

【図1】対象区域図



2-1 五福地区の特性

五福地区は、瀬戸内海の干拓および高梁川の改修（東高梁川廃川地）により形成されており、水島港の整備で発生した浚渫土による埋立てにより、できた水島コンビナートが隣接しています。

2-2 五福地区の予想される災害

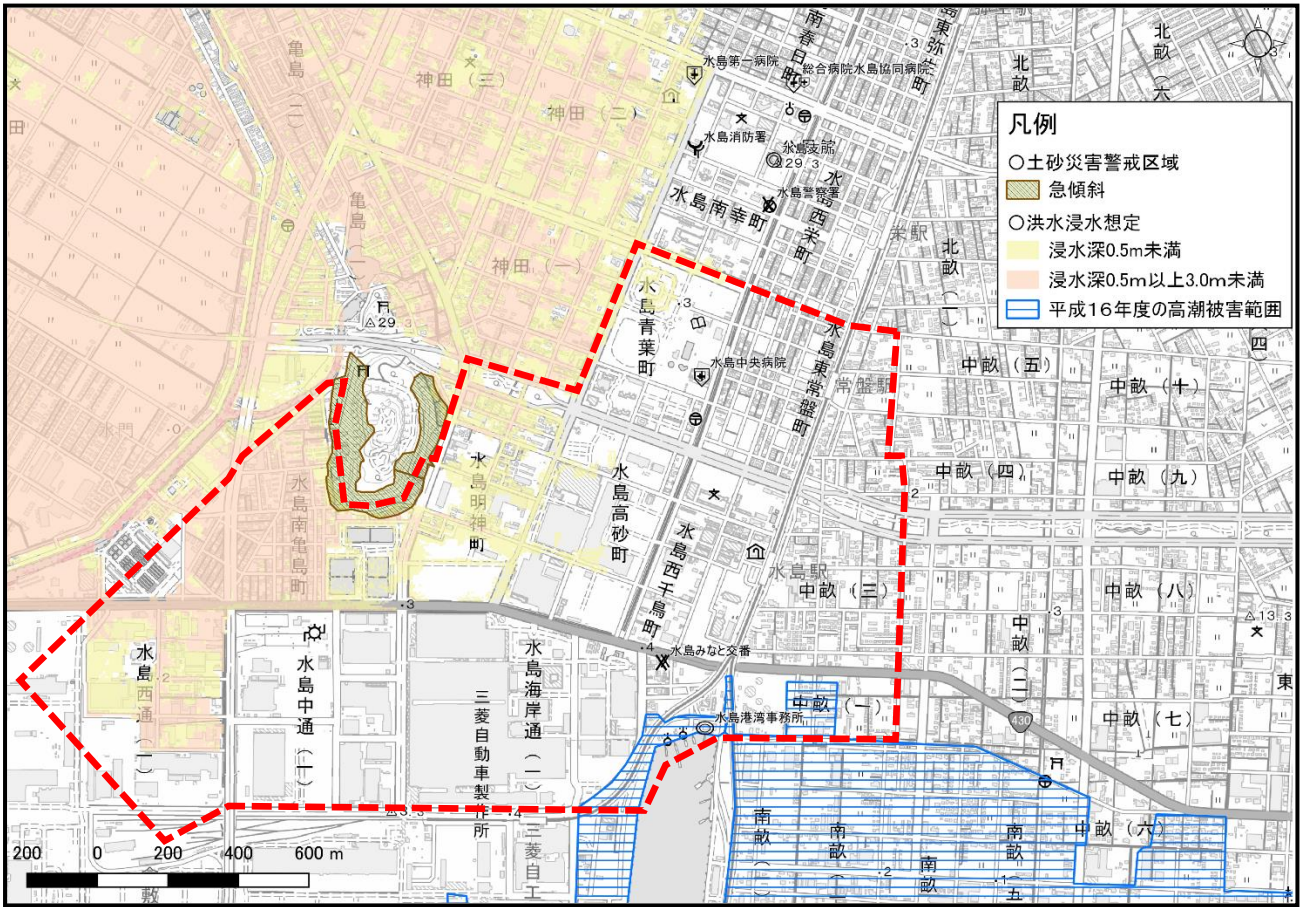
(1) 過去の災害

【表2】過去の大きな災害年表

| 年 | 災害名 | 災害の内容 |
|------|---------|--|
| 1798 | 寛政の洪水 | 大雨により西阿知町西原の西高梁川左岸堤防が約540mに渡り決壊した。濁流が片島町・中島等へ流れ込んだ。 |
| 1850 | 嘉永の洪水 | 東高梁川が決壊して、帯江全域が2m水没した。 |
| 1854 | 安政の大地震 | 建物倒壊および地割れ、液状化現象、川の逆流が発生した。 |
| 1884 | 明治17年高潮 | 直撃台風の吹き戻しによる高潮が発生。福田新田の干拓堤防が各所で決壊。当時の福田新田五か村（北畝・中畝・東塚・南畝・松江）の被害は、破壊流失した家屋742戸、荒廃した田畑705ha、犠牲者は536人にのぼった。 |
| 1893 | 明治26年豪雨 | 大雨により酒津の東高梁川右岸および水江の西高梁川左岸が決壊。水江、西阿知、片島、中島など全域が浸水した。 |
| 1946 | 昭和南海地震 | 岡山県南部では震度4～6を観測し、人的被害は軽傷者、干拓地では全域にわたり大規模な液状化が発生した。底土塩水の噴出により干拓地の半分以上が使えなくなった。全倒伏約200戸の他、堤防破損、水門破損、道路の亀裂沈下、橋の落下、水路底隆起等の被害が発生した。 |
| 2004 | 台風16号高潮 | 水島港で海抜3.2mの高潮で海水が溢れ南畝地区が浸水、神亀小学校西側の用水路が溢れた。 |
| 2011 | 台風12号豪雨 | 総降雨量232mmの大雨で連島地区が浸水。大梵町内入船町内で床上浸水となった。 |

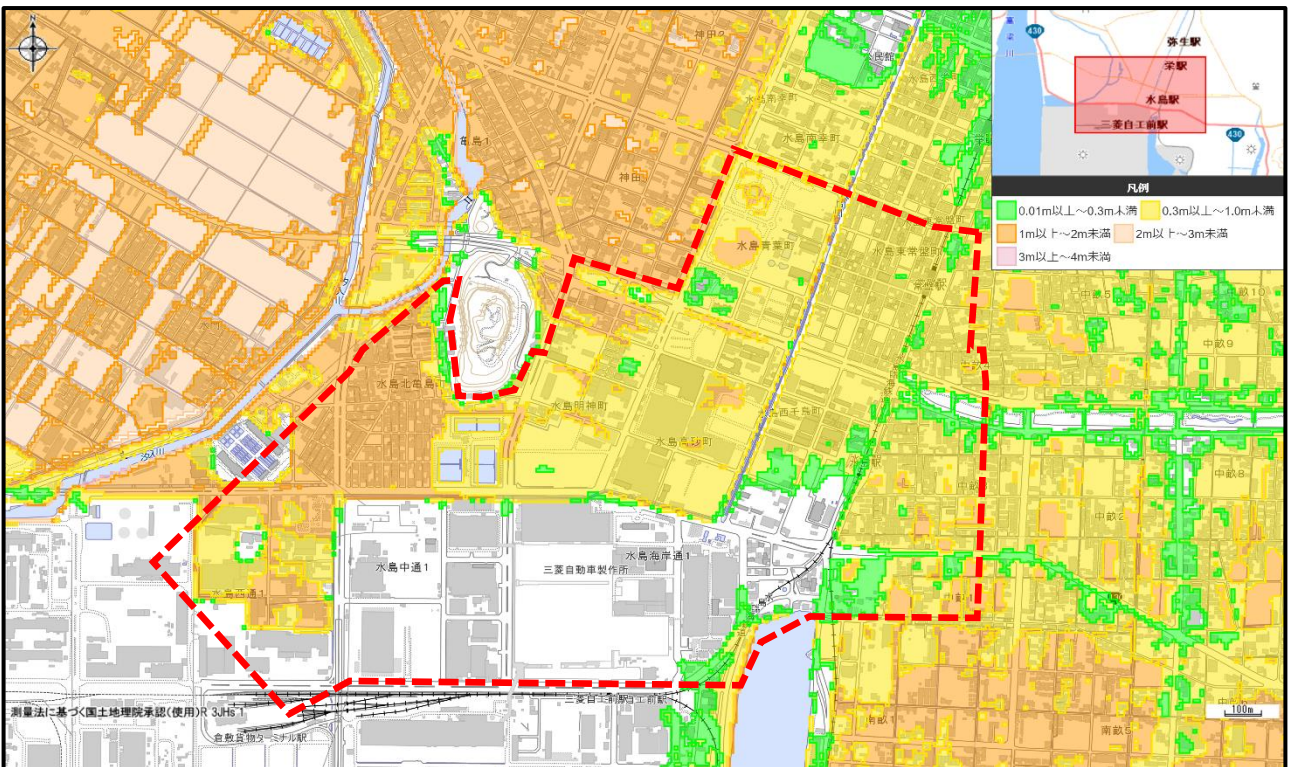
(2) 五福地区のハザードマップ

【図2】洪水・土砂災害ハザードマップ



出展：倉敷市（令和2年作成）洪水・土砂災害ハザードマップ（水島地区）

【図3】津波ハザードマップ



出展：「南海トラフ巨大地震（マグニチュード9.1）による津波浸水想定区域図（岡山県、平成25年3月公表）をもとに作成

2-3 活動の進め方

五福地区の予想される災害およびモデル地区第1回部会において、実施したSWOT分析で浮き彫りになった地区の特徴の違いを考慮し、五福地区を以下の7地区に区分して活動を実施することにしました。

- (1) 千鳥・福崎地区：水島東千鳥町、水島西千鳥町、水島福崎町、水島海岸通
- (2) 常盤地区：水島東常盤町、水島西常盤町
- (3) 青葉・高砂地区：水島青葉町、水島高砂町
- (4) 中畝123地区：中畝1丁目、中畝2丁目、中畝3丁目
- (5) 中畝45地区：中畝4丁目、中畝5丁目
- (6) 明神地区：水島明神町、水島中通
- (7) 亀島地区：水島南亀島町、水島北亀島町、水島西通

【表3】各地区の特徴

| 地区名 | 土地の成り立ち | 特徴 | 立地環境 | | | |
|---------|--------------------------|----------------------------|---------------------------|---------|------------------|-----------------------------------|
| | | | 河川 | 海域 | 傾斜地 | 地盤 |
| 常盤地区 | 旧河道の埋立地 東高梁川 (天井川) | 住宅地 住宅密集地 | △ 八間川 降雨による 洪水浸水 | 水島港 | | × 廃川地 地震による 液状化現象 |
| 千鳥・福崎地区 | | 住宅地 水島港隣接 | | | | |
| 青葉・高砂地区 | | 住宅地 企業社宅多 | | | | |
| 明神地区 | 海域等の埋立地・干拓地 | 住宅地 亀島山近隣 | × 汐入川 地震による 津波 | 台風による高潮 | × 亀島山 土砂災害 | × 埋立地 干拓地 地震による 液状化現象 |
| 亀島地区 | | 住宅地 亀島山近隣 汐入川近隣 | | | | |
| 中畝123地区 | | 住宅地 水田埋立地 幹線道路より低い土地 | △ 用水路 降雨による 浸水 | | | |
| 中畝45地区 | | 水島緑地 | | | | |

2-4 活動組織

五福学区防災協議会

自主防災組織がなく、広範囲な五福地区の防災を取りまとめる組織として今回立ち上げた。

- ・倉敷市五福地区社会福祉協議会
- ・倉敷市五福地区民生委員児童委員協議会
- ・くらしき防災士の会
- ・その他有志



■香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構
地域強靱化研究センター 特命准教授 磯打 千雅子 先生

■岡山県地区防災計画等作成推進協議会
(事務局：岡山県危機管理課)

■倉敷市総務局防災危機管理室防災推進課

によるアドバイスを受けながら地区防災計画の作成に取り組んだ。

2-5 活動方針

第1回部会における各地区のSWOT分析および討議結果から、将来の五福地区全体の防災組織づくりおよび運営マニュアル策定に向け、特性の異なる各地区現状把握を主とした以下3点を活動実施項目としました。

(1) 防災まち歩き・防災マップの作成

- ・災害時に役立つもの、危険なものや場所、気になることを地図に書込む

(2) 五福地区防災組織連絡体制の構築

- ・避難時の情報伝達、安否確認を迅速にできるような体制づくり
- ・災害発生時の安否確認伝達訓練の実施

(3) 防災タイムラインの作成

- ・災害警戒レベルに対応した避難行動計画の策定

3 活動内容

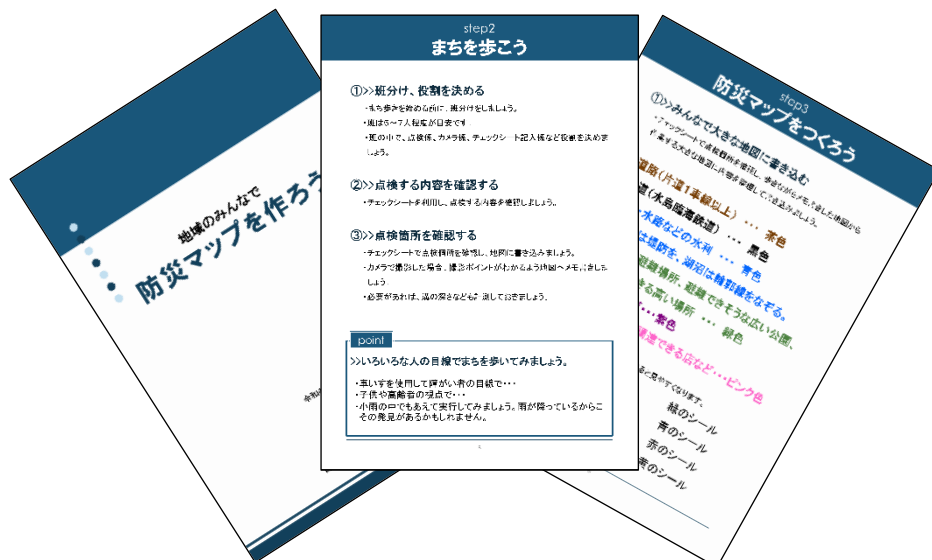
3-1 防災まち歩き・防災マップの作成

(1) 防災まち歩きの実施（7地区、延べ11回実施）

【実施例】7:30～ 8:00 防災まち歩きの説明

8:00～ 9:20 防災まち歩き実施（地図への記入と写真撮影）

9:30～11:00 防災マップ作成



(2) 作成した各地区の防災マップ

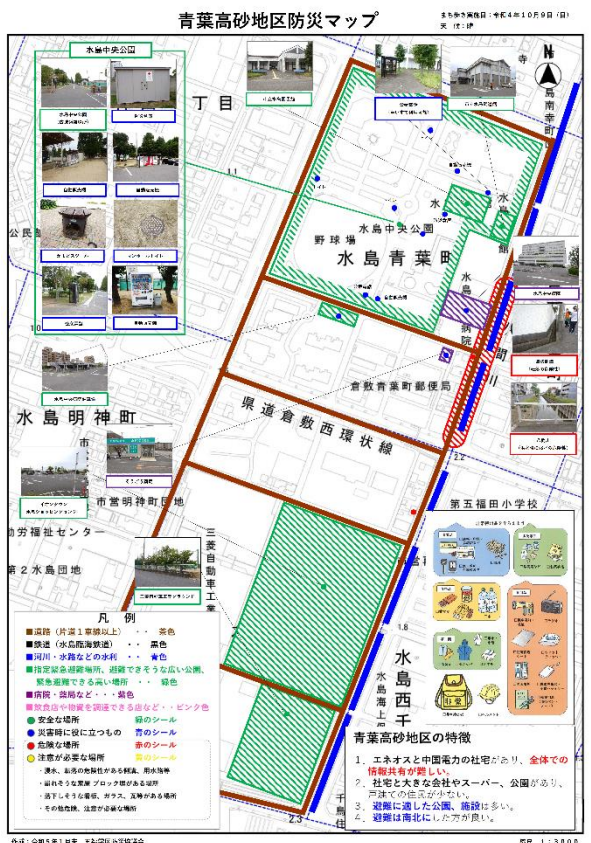
【図4】千鳥・福崎地区防災マップ



【図5】常盤地区防災マップ



【図6】青葉・高砂地区防災マップ



【図7】明神地区防災マップ



【図8】中畝123地区防災マップ



【図9】中畝45地区防災マップ



【図 10】 亀島地区防災マップ



(3) 防災マップ作成から見てきた各地区の特徴

千鳥・福崎地区の特徴

- ① 区画整理がしっかりされていて、大きな施設が多く住宅が少ない。
- ② 水島港が千鳥・福崎町に向かって狭まっているので、津波には気を付ける必要がある。
- ③ 地震の時は、液状化が心配である。
- ④ 避難に適した施設が多くある。
- ⑤ 排水溝にふたのない所がいくつかある。

常盤地区の特徴

- ① 計画的に整備された町並みで、公園などの一時避難場所がある。
- ② 津波避難に活用できる建物や防災に役立つ病院・ホテルなどが多い。
- ③ 使用されていないスナックなど古い建物が多く、地震発生時、看板や瓦、窓ガラスの落下が懸念される。
- ④ 地盤に高低差があり、低く大雨で浸水しやすい路地裏地帯がある。
- ⑤ 清掃が必要な泥で埋まった排水溝があり、浸水しやすい箇所がある。
- ⑥ 消火栓ホース箱や消火器が無く、初期消火に支障が出る。

青葉・高砂地区の特徴

- ① E N E O S 株式会社と中国電力株式会社水島発電所の社宅があり、**全体での情報共有が難しい。**
- ② 社宅と大きな会社やスーパー、公園などがあり、戸建ての住民が少ない。
- ③ **避難に適した公園、施設は多い。**
- ④ **避難は南北方向にした方がよい。**

明神地区の特徴

- ① これまで災害といえるものはなく、**全体として安全な地域。**
- ② 避難場所としては、市立第五福田小学校と水島中央公園。**亀島山は心細い。**
- ③ 水路がないので、これまでも**浸水の被害が少ない**のでは。
- ④ 広い場所も多く、**避難しやすいが危険な塀**などがいくつかある。
- ⑤ 企業も多く、**防災の面で提携**なども考えたい。

中畝地区の特徴

- ① 転落防止柵の無い用水路が多くあり、**車や人の転落の恐れ**ある。
- ② 北南西 3 方向の幹線道路に囲まれた低地に住居が多くあり、**浸水に弱い。**
- ③ 浸水時や津波時の避難活用できる**高い建物が少ない。**
- ④ 一時避難場所に使える**公園・空地が少ない。**
- ⑤ 消火栓ホース箱や消火器が無く、**初期消火に支障**が出る。

亀島地区の特徴

- ① 区画整理はされているが、**土地の低い場所**があったり、上から**物が落下**してきそうな場所がある。
- ② 430 号線に向かう南北の道路の西側は、**何度か浸水**したことがある。
- ③ **用水路が少ない。**
- ④ 排水ポンプの工事以降、**排水が良好。**
- ⑤ 近くに避難場所がない。
- ⑥ お店など**役に立つ場所が少ない。**

(4) 防災マップ作成まとめ

- ①実際に歩き観察することで、各地区の危険箇所、役に立つ場所など、より具体的に共有できた。
- ②小学生から年配の方まで幅広い年齢層が参加、多様な視点で見ることができた。
- ③参加者のコミュニケーションが密になり、防災意識が高まった。
- ④マップの各世帯への配布により、情報の共有化が図れる。
- ⑤個人所有のもの、個人宅の危険箇所についてはマップ上に表示できなかった。これらの危険箇所の是正は今後の課題である。

3-2 防災組織づくりと安否確認伝達訓練の実施

(1) 防災組織

7地区毎に防災組織を構築する必要があり、令和4年度は地区毎に代表を決め活動しました。ただし、役割分担を含めすべて充足するまでには至っていません。

【図11】五福学区防災協議会組織図

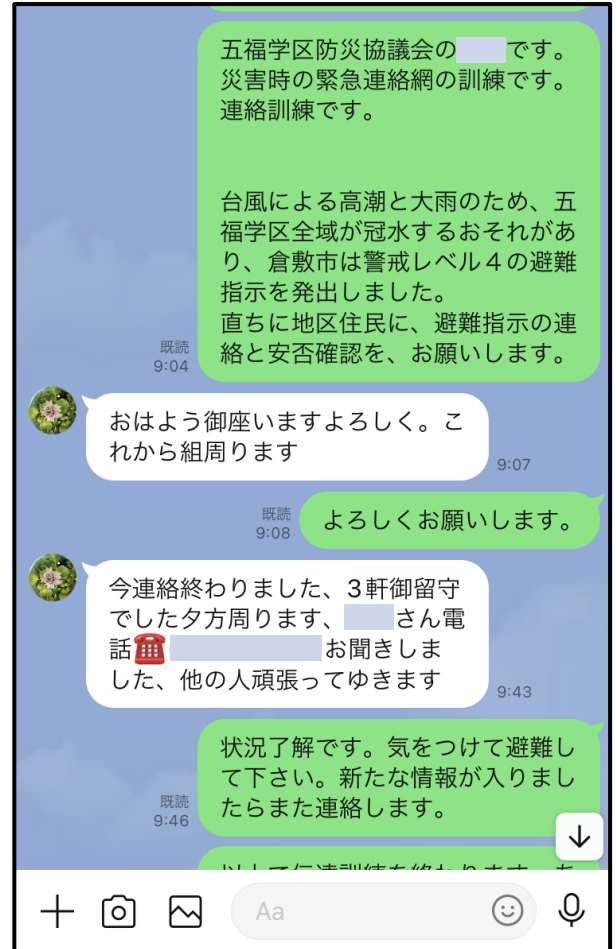
五福学区防災協議会組織図

令和4年12月31日現在

| 会長 | | 副会長 | | 協議会役員 | | 1 千島・福崎地区 | | 2 常盤地区 | | 3 青葉・高砂地区 | | 4 中軟123地区 | | 5 中軟45地区 | | 6 明神地区 | | 7 龜島地区 | |
|----------|--------|--------|--------|--------|-------|-----------|--------|--------|-----|-----------|-----|-----------|-----|----------|-----|--------|-----|--------|-----|
| 会長 | 難波 信雄 | 副会長 | 田中 美代子 | 会長 | 難波 信雄 | 副会長 | 田中 美代子 | 代表 | | 代表 | | 代表 | | 代表 | | 代表 | | 代表 | |
| 副会長 | | 副会長 | | 副会長 | | 副会長 | | 副代表 | | 副代表 | | 副代表 | | 副代表 | | 副代表 | | 副代表 | |
| 役員 | 氏名 | 役員 | 氏名 | 役員 | 氏名 | 役員 | 氏名 | 役員 | 氏名 | 役員 | 氏名 | 役員 | 氏名 | 役員 | 氏名 | 役員 | 氏名 | 役員 | 氏名 |
| 総務 | 尾崎 勝也 | 外部連絡調整 | | 外部連絡調整 | | 外部連絡調整 | | 外部連絡調整 | | 外部連絡調整 | | 外部連絡調整 | | 外部連絡調整 | | 外部連絡調整 | | 外部連絡調整 | |
| 総務 | 橋本 正広 | 民生委員 | | 民生委員 | | 民生委員 | | 民生委員 | | 民生委員 | | 民生委員 | | 民生委員 | | 民生委員 | | 民生委員 | |
| 総務 | 木村 洋平 | 児童委員 | | 児童委員 | | 児童委員 | | 児童委員 | | 児童委員 | | 児童委員 | | 児童委員 | | 児童委員 | | 児童委員 | |
| 民児協会長 | 田中 美代子 | 防災士 | | 防災士 | | 防災士 | | 防災士 | | 防災士 | | 防災士 | | 防災士 | | 防災士 | | 防災士 | |
| 民児協副会長 | 廣政 静恵 | 初期消火 | | 初期消火 | | 初期消火 | | 初期消火 | | 初期消火 | | 初期消火 | | 初期消火 | | 初期消火 | | 初期消火 | |
| 防災士 | 三宅 勇次 | 避難誘導 | | 避難誘導 | | 避難誘導 | | 避難誘導 | | 避難誘導 | | 避難誘導 | | 避難誘導 | | 避難誘導 | | 避難誘導 | |
| 初期消火 | | 救出・救援 | | 救出・救援 | | 救出・救援 | | 救出・救援 | | 救出・救援 | | 救出・救援 | | 救出・救援 | | 救出・救援 | | 救出・救援 | |
| 避難誘導 | | 情報 | | 情報 | | 情報 | | 情報 | | 情報 | | 情報 | | 情報 | | 情報 | | 情報 | |
| 救出・救援 | | 給食・給水 | | 給食・給水 | | 給食・給水 | | 給食・給水 | | 給食・給水 | | 給食・給水 | | 給食・給水 | | 給食・給水 | | 給食・給水 | |
| 情報 | | 避難所運営 | | 避難所運営 | | 避難所運営 | | 避難所運営 | | 避難所運営 | | 避難所運営 | | 避難所運営 | | 避難所運営 | | 避難所運営 | |
| 給食・給水 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 避難所運営 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 避難所運営 | | 避難所運営 | | 避難所運営 | | 避難所運営 | | 避難所運営 | | 避難所運営 | | 避難所運営 | | 避難所運営 | | 避難所運営 | | 避難所運営 | |
| 班長 | | 班長 | | 班長 | | 班長 | | 班長 | | 班長 | | 班長 | | 班長 | | 班長 | | 班長 | |
| 副班長 | | 副班長 | | 副班長 | | 副班長 | | 副班長 | | 副班長 | | 副班長 | | 副班長 | | 副班長 | | 副班長 | |
| 副班長 | | 副班長 | | 副班長 | | 副班長 | | 副班長 | | 副班長 | | 副班長 | | 副班長 | | 副班長 | | 副班長 | |
| 町名 | 世帯数 | 町名 | 世帯数 | 町名 | 世帯数 | 町名 | 世帯数 | 町名 | 世帯数 | 町名 | 世帯数 | 町名 | 世帯数 | 町名 | 世帯数 | 町名 | 世帯数 | 町名 | 世帯数 |
| 水島東千島町 | 104 | 水島常盤町 | 159 | 水島青葉町 | 146 | 中軟1丁目 | | 中軟4丁目 | | 水島明神町 | 120 | 水島南龜島町 | 254 | | | | | | |
| 水島西千島町 | 263 | 水島西常盤町 | 128 | 水島高砂町 | 12 | 中軟2丁目 | | 中軟5丁目 | | 水島中通1丁目 | 0 | 水島北龜島町 | 319 | | | | | | |
| 水島福崎町 | 13 | | | | | 中軟3丁目 | | | | 水島中通2丁目 | 0 | 水島西通1丁目 | 5 | | | | | | |
| 水島海岸通1丁目 | 2 | | | | | | | | | 水島中通3丁目 | 0 | 水島西通2丁目 | 0 | | | | | | |
| 水島海岸通2丁目 | 0 | | | | | | | | | 水島中通4丁目 | 0 | | | | | | | | |
| 水島海岸通3丁目 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水島海岸通4丁目 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水島海岸通5丁目 | 0 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 合計 | 382 | 合計 | 287 | 合計 | 158 | 合計 | 0 | 合計 | 0 | 合計 | 120 | 合計 | 578 | | | | | | |

(3) 安否確認伝達訓練まとめ

- ①全体的に順調に受発信ができた。
- ②参加者は、高齢者の方が多い実態もあり、防災情報受発信、安否確認の連絡網の必要性に理解を示した。
- ③LINEの使用は、迅速性・正確性があり有効。情報をまとめて発信でき、記録が残るので遡って確認できる。
また、未確認者の洗い出しもできる。
- ④参加者は将来的に、LINEグループによる連絡網の設置には賛成。
- ⑤スマートフォンを持つ方であれば、LINEグループの作成については、使用方法の説明書および補助があれば容易である。
- ⑥安否確認は、毎年メンバーが変更になるものの各町内組織を充てるのがいいのではないかと。
- ⑦LINEグループの普及により、平常時は地域のイベント・サロン情報など、新しいコミュニティーの場として、災害時は避難情報の共有や避難スイッチとして、活用できる。



【図 14】LINEによる受発信

今後、毎年、安否確認伝達訓練を計画・実施し、良かった点や悪かった点を地区の皆さんで話し合い、次年度の訓練に活かせるよう、PDCAサイクルによる実効性・継続性の確保を行う。

3-3 地区タイムライン

海拔等の地区特性と対象者により区分・着目した地区タイムラインを作成しました。今後、避難訓練や情報伝達訓練を繰り返し実施することで、改善しながら運用を行います。

【図 15】五福地区タイムライン（海拔等の地区特性格）

| 五福地区のタイムライン案 | | それぞれで考えてみよう！ | | | |
|--|--------|--------------|--|---|--|
| 想定・・・台風接近・通過による暴風雨 河川用水路の氾濫（高潮なし） | | | | | |
| 2日間で250mmを超える降雨による河川氾濫 令和2年版倉敷市洪水土砂災害ハザードマップより | | | | | |
| 警戒レベル | 警報注意情報 | 周囲の状況 | 想定される行動計画 | | |
| | | | 海拔 0.5～1m未満 南北亀島 (山際を除く) | 海拔 0.5～1m未満 中畝1～3 明神町の一部 用水・八間川近辺 | 海拔 1～1.5m 中畝4, 5 常盤 千鳥 青葉/高砂 明神町 |
| 5日前 | レベル1 | 風雨が強くなる | <ul style="list-style-type: none"> ・台風の進路予報の入手・確認開始 ・災害リスクの再確認 ・家族の行動予定・移動手段の確認 ・防災用品・非常食の点検 ・停電・断水対策 | | |
| 4日前 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・持病薬・コンタクトレンズの確保 ・交通の計画運休や通行止めなどの情報入手 | | |
| 3日前 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・車のガソリンなどの満タン確保 ・窓枠からの吹込み対策 ・暴風雨になる時間の確認 ・住まい周辺・近所の確認 | | |
| 2日前 | レベル2 | 大雨・洪水・強風注意情報 | <ul style="list-style-type: none"> ・排水溝の掃除 ・自動車・自転車の暴風対策 ・土のう・止水版の設置（〇〇分） ・避難ルートの再確認 | | |
| 前日 | | | <ul style="list-style-type: none"> ・要支援者への事態の予告 ・飛散防止対策・取り込み ・湯舟に生活雑用水を確保 ・スマホなどの充電確保 ・窓ガラスにガムテープなど | | |
| 12～24時間前 | レベル3 | 大雨・洪水・暴風警報 | <ul style="list-style-type: none"> ・避難の準備、避難先の状況確認 ・HP「川の防災情報」などによる水位確認開始 ・自主避難の検討 | | |
| 12～6時間前 | レベル4 | | <ul style="list-style-type: none"> ・避難勧告などの発令入手確認 ・避難所・安全な所への避難開始（〇〇分） ・河川洪水の可能性確認 | | |
| 6時間前～（接近・通過） | レベル5 | 風暴風になる | <ul style="list-style-type: none"> ・家族・近所の安否確認 | | |
| 6時間後 | レベル3 | | <ul style="list-style-type: none"> ・避難指示 情報発令 | | |
| 6～12時間後 | レベル3 | | <ul style="list-style-type: none"> ・現状をしっかりと把握しながら、当初の計画通り避難する。 ・準備がすべてです。 ※台風などの場合は、避難しても1日程度。その間の必要なものと浸水対策をして避難する | | |
| | | | 【情報確認】 倉敷防災ポータル おかやま防災ポータル | | |

【図 16】五福地区タイムライン（対象者別）

| 五福地区のタイムライン(対象者別) | | | | | | | | | |
|-------------------|----------|------------|--------|--------|----------------|---|--|---|--|
| 風水害のおそれがある場合 | | | | | | | | | |
| 避難情報 | 気象情報等 | | | | 日頃からの備え | 私(要支援者)と同居の家族 | 別居の家族や親族 | 避難支援等実施者(避難サポーター) | |
| | 雨 | 土砂 | 河川 | 高潮 | | | | 地域 | 福祉関係者 |
| 警戒レベル2 | 大雨洪水注意情報 | | 氾濫注意情報 | 高潮注意情報 | | <ul style="list-style-type: none"> □非常持ち出し品及び備蓄品の準備 □避難先や経路の確認 □避難サポーター等と避難方法の調整 □避難施設の空き状況の確認 □非常持ち出し品の補充 □停電・断水に備える □車の燃料を満タンにしておく | <ul style="list-style-type: none"> □避難先や経路の確認(要支援者) □別居(市内) 安否確認手段の確認 □別居(市外) 安否確認手段の確認 □別居(県外) 当該地域の気象情報の収集 □安否確認手段の確認 | <ul style="list-style-type: none"> □避難先や経路の確認(要支援者) □要支援者名簿に記載されていない方の確認 □要支援者の行動予定・移動手段の確認 □排水溝の清掃 □開口部等危険箇所の表示の確認 | <ul style="list-style-type: none"> □避難先や経路の確認(要支援者) □要支援者名簿に記載されていない方の確認 □要支援者名簿に記入されていない方の確認 □高齢者支援センターとの共助が必要 |
| 警戒レベル3 高齢者等避難 | 大雨・洪水警報 | 大雨警報(土砂災害) | 氾濫警戒情報 | | 災害のおそれがある場合の備え | <ul style="list-style-type: none"> □気象情報等の収集 □避難準備 □非常持ち出し品の確認 □倉敷市が発表する情報の収集 □自主防災組織の情報 | <ul style="list-style-type: none"> □気象情報等の収集 □避難支援の準備 □非常連絡先の確認 □倉敷市が発表する情報の収集 | <ul style="list-style-type: none"> □気象情報等の収集 □要支援者への声掛け(状況確認) □避難支援の準備 □地域情報の収集 □倉敷市が発表する情報の収集 | <ul style="list-style-type: none"> □気象情報等の収集 □要支援者への声掛け(状況確認) □要支援者名簿に記入されていない方の確認 □収集した情報の共有 □非常連絡先の確認 |
| 警戒レベル4 避難指示 | | 土砂災害警戒情報 | 氾濫危険情報 | 高潮警報 | | <ul style="list-style-type: none"> □避難の意思を伝える □避難意思の確認 □収集した情報の共有及び避難支援についての打ち合わせ □避難先の決定(自宅・ホテル・避難所)を決定し、支援者に連絡 | <ul style="list-style-type: none"> □避難先の確認 | <ul style="list-style-type: none"> □避難困難者の避難行動の確認 □土砂災害警戒判定メッシュ情報が黄色になったとき □氾濫注意水位を超えて危険度分布で濃い紫になったとき □大雨警報(浸水害)の危険度分布が黄色になったとき | <ul style="list-style-type: none"> □避難困難者の避難行動の確認 |
| 警戒レベル5 | 緊急安全確保 | | | | | <ul style="list-style-type: none"> □伝言ダイヤルに安否情報登録 □避難完了 □避難が完了したことを共有 | <ul style="list-style-type: none"> □伝言ダイヤルに安否情報確認 | <ul style="list-style-type: none"> □伝言ダイヤルに安否情報確認 | <ul style="list-style-type: none"> □避難所の避難者情報の収集 □福祉避難所の開設確認 |

いつどこへ 逃げるか 事前に考えておくことが「マイ・タイムライン」です。

4 活動の成果と今後の取り組み

4-1 活動の成果

- (1) 誰ひとり取り残されない防災に向けて、地区として大きな一歩を踏み出す事ができた。
- (2) 活動により各地区の様々な世代の参加者の方々と、コミュニケーション強化が図れ、防災意識を高めることができた。
- (3) 県モデル事業へ参画することで、防災について共に考え行動できたことは五福地区にとって、大きな財産となった。

4-2 今後の取り組み

- (1) 世代を越えた全住民参加により、防災意識を高め住民の結束を図る活動の推進
 - ①総合避難訓練の実施（手を変え品を変えた企画）
 - ②LINEグループを利用した伝達訓練の実施
 - ③平成30年7月豪雨災害での経験談等、防災知識向上の場をつくる。
- (2) 自主防災組織の構築
 - ①地区組織の強化（人材の確保、役割分担）
 - ②運営方法の確立（規範、活動予算の確保）
 - ③連絡網（LINEグループ活用）のブラッシュアップ
- (3) 防災マップの活用
 - ①防災マップの地区内全世帯への配布
 - ②個人が所有する危険箇所の改善への取り組み
- (4) 作成した地区タイムラインを活用した避難訓練の実施

令和4年度岡山県地区防災計画等作成モデル事業